

高島市更生保護女性会 更女



高島市更生保護女性会

更生保護女性会綱領

- 一、私たちは一人ひとりが人として尊重され社会の一員として連帯し、心豊かに生きられる明るい社会をめざします。
- 一、私たちは更生保護の心を広め、次代を担う青少年の健全な育成に努めるとともに、関係団体と連携しつつ、過ちに陥った人たちの更生のための支えとなります。
- 一、私たちは知識を求めて自己研鑽に励むとともに、温かな人間愛を持って明るい社会づくりのために行動します。

更生保護女性会の主な活動

- ◆犯罪、非行予防活動の実施
- ◆子育て支援・青少年健全育成活動
- ◆社会貢献活動に対する協力
- ◆更生保護施設・矯正施設への協力

《協力：高島市社会福祉課》

『毎日の幸せ』

高島保護区保護司会
会長 伊藤 隆樹

令和四年度から会長を拝命しました。よろしくご指導ご支援をお願いします。

さて例年「社会を明るくする運動」

が7月に実施され、市内の小中学校から作文を募集します。今年度も九百を超える応募をいただきました。その中から小・中三点ずつの優秀作品を県に応募したところ青柳小学校の久保凜花さんの作品「毎日の幸せ」が県の最優秀賞に選ばされました。

その中で久保さんは「社会を明るくする」という壮大な課題の解決を自分の生活に目を向けて考えていました。毎日の生活の中で「自分も社会の一員で社会を作り上げる一人だ」という気づきからじめや犯罪等を無くすには、各自が「今過ごしている一瞬一瞬の中にある幸せを見つけ、自分自身に自信を持つことが一番だ」とし「一秒一秒に詰まっている幸運を見つけ、前向きに明るく暮らすこと」と訴えています。一番身近な自分自身を見つめることで「社会を明るくするための基礎を固める」という誰もが実践可能な考え方は、今後ぜひ広まっていくてほしいと考えました。

更生保護に携わる我々も生活の中

に一瞬一瞬の幸せを見つけたいし、また多くの人が幸せを見つける支援に尽力したいものです。

『つながりあうヒツクミを!』



会長 嶋崎 ひな子

心まちにした春が巡ってまいりました。日頃の皆様のご支援に感謝申しあげ、来るべく令和五年度の更生保護活動への変わらぬご協力をお願い申しあげます。

さて、令和四年度は春から早々に“におのうみ川柳カレンダー”的配布に取り組み、地域の皆様に更生保護への理解とご協力をお願い致しました。配布先での日捲りカレンダーに目を止められた方の気持ちを支える一句となりましたでしょうか。そう願うばかりです。

また、総会・会員研修・一般公開ケース研究会その他種々の活動が人數制限をしながらも、開催出来ました事、しかも関係団体と連携を図る機運が生まれ、その機会が持てたことも喜ばしい事でした。多様な意見や取り組みを共有出来、それが自分たちの活動に生かせたり、ネットワークが広がったりと大変ありがたい事でした。ただ人數制限下で会員皆様に大事な内容をお伝えし、共有い

かと考えております。その中で十二月に協賛致しました『たかしまXmas Festival 2022』は非常に温かく、ア・フリー・マーケットの方等、皆さんの笑顔はすてきでした。主催者の子どもたちへの一途な応援パワーを感じた一日で感動が忘れられずこの機会を通じお伝え致します。

更生保護施設「光風寮」への慰問品贈呈は、十月に行いました。今年度も施設訪問は叶いませんでしたが、交流会という形で、職員の方から色々なご苦労をお聞きし、「こういった慰問品は大変ありがたい」とのお言葉に、皆様の温かいお気持ち（愛の協賛金）をお伝え出来た



とホットし、また嬉しく思いました。その際、たまたま衣類の整理をされた方からの提供もあり大変喜ばれました。日頃から気に留めていた

だいていた事に感服いたしました。各支部での取り組みも、多岐にわたる地域のボランティアへの参加等幅が広がりつつあります。今後も、地域の皆さんと繋がり合い、困りごとに心寄せ、大事に至らないように地域のおせつかいおばちゃんとして活動してまいりますよう。先輩たち

連携をキーワードに!

総会において

市社会福祉課から、市の再犯防止推進計画の中に、関係機関として保護

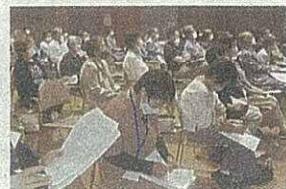
司会・更生保護女性会が明記されたと
いう説明をうけました。

会員研修において

六月に、保護司会と地域の連携について研修会を開催しました。

草津市の他団体との連携・サポート・

支援活動をお聞きし、保護司さんから
は直接かかわる事の難しさ、同じ立場にたつた支援他団体との連携で「みんなの笑顔が見られる」喜び等の思い
をお聞きしました。また、今津・新旭
地区での子ども食堂の取り組みの成果
や課題などをお聞きし、考える事が
多々ありました。



朽木支部 武内 潮美

十七名で地域の丸八百貨店で行いました。事例から家庭内の問題にどのような関わり方をすれば良いのか皆さんの意見が出ました。おせつかいと思われても常々のつながりを持ち続ける保護司さんの「自助・共助・公助より近助」という言葉は大事だと思いました。久しぶりの顔合わせで「楽しかった」と会員さんも喜んでおられました。



一般公開ケース研究会 生きづらさを生きていく

朽木支部 武内 潮美



マキノ支部 山本 一代

十一月二十七日に保護司の方三名をお迎えし開催しました。マキノ支所長・一般の方・会員とで十一名での研修会でした。

保護司さんの経験に基づく貴重なお話と、個人情報の事もあり直接支援の難しさも改めて感じました。他

の団体と連携することで、生きづらさを抱える人の支援ができるのでは
ないかというご意見もいただき、今後の方向性を考える良い機会となりました。
これからも保護司さんとの連携を深めていきたいです。



今津支部 廣本 さとみ

「人の間と書いて人間」人と人との絆に関わる活動は、どこまで信頼関係が構築できるかが鍵ですが、とても

も難しい事です。確たる信頼を受けないと、他の地域組織、行政や専門機関と繋がり合い、相談する事もできないなど・・・。

市の社会福祉課からは、問題をかかえる方々の支援の場があるので相談に来てほしいとの声がありました。

この研修で深めた事を基に地域で連携し、見守り活動をしていくという思いで終えました。

高島支部 駒井 利枝

十一月十三日、高島公民館において保護司二名、高島支所長、学校地域コーディネーター、市会長、高島支部会員十一名、計十六名で事例研究を行いました。

それぞれの立場、経験を踏まえた意見を出し合い、ヤングケアラーの支援について研修を深めました。



安曇川支部 石黒 紀代子

保護司の方五名と会員十一名が、三組に分かれ研修をしました。

総評で保護司の大塚泰雄さんに、

①「生きづらさを考えた家庭の人に対する対応としてどう対応していくけるか。」②「知らんふり」を続けた地域・家族などが結果、大変な社会の事件になる。③犯罪の情報発信が起こる前に何を守るために地域と個人が力を合わせてする事が大切である、とまとめていただき。保護司の方々と話し合えたことができ、大きなメリットのある研修でした。



～誰一人取り残さない地域のちから～

みなさんと
つながりながら

各支部の更女活動

絵本・花をプレゼント

マキノ東・西・南小学校に琵琶湖の環境問題に関心を持つてほしいとの願いで「はじめてのびわこの魚」の本を進呈しました。

また、福祉施設や駐在所・公民館を訪問し、皆様の癒しになればとお花を贈りました。

さらに、マキノ中

学校には、作文「二〇二二私の思い」での入賞者に文具を進呈しました。生徒さんの思いや考えを知り感動しました。



マキノ支部

子ども食堂のお手伝い!

十月はハロウィン、十一月はクリスマスと時事に合わせた名前を付けた月一回の子ども食堂でお手伝いをしています。

お友達同士での

参加や介護の方

と一緒に参加など

様々な方が、心の

こもった手作りカ

レーを、久しぶり

に出会った人とほおばるひと時は、コロナ禍を忘れさせてくれる幸せな時間です。また来月も幸せな時間を共有できますように！



高島支部

地域のつながり

今年度最後の小・中

学校の草取り作業は小

学生と一緒に通学路の

坂道の落ち葉集めから

始まりました。

紅葉が道に美しい模

様を描いていて、集めるのが残念という小學生の声がありました。十分程度の合同作業でしたが子どもたちの楽しそうな声を聞けて良かったです。

その後、花壇の花を植えました。春が待ち遠しいです。



朽木支部

SDGsの取り組み

コロナ禍で二年間できなかつた「あどがわボランティアまつり」が十一月二十三日安曇川公民館で開催されました。

私達更生保護女性会も地域のボランティアの方と一緒に参加することができ、

更女活動の紹介・ポスターとSDGsの取り組みとして、カレンダーのリサイクルエコバックをたくさん作り参加者に渡しました。とても好評でした。更女の活動を知らない方が興味深く見てくださつてとても良い機会を頂けたと思っています。



安曇川支部

子ども食堂などに参加

今年度も、「子ども食堂」に参加しました。

コロナの状況をみながらでしたが、毎月開催することができました。その他、ふくしまつりやクリーンアップ作戦、駅前花壇の整備作業にも参加、また暮れには学童保育所

のボランティアの方と一緒に参加することができ、

更女活動の紹介・ポスターとSDGsの取り組みとして、カレンダーのリサイクルエコバックをたくさん作り参加者に渡しました。とても好評でした。更女の活動を知らない方が興味深く見てくださつてとても良い機会を頂けたと思っています。



新旭支部

今津東小学校訪問

前川校長先生からは、地域とつながりを持つ事から、小中学校で琵琶湖の外来種の駆除やハマヒルガオの花を残すお話をありました。

お土産として、一・二年生は

剪定木を鉛筆に見立てストラップに。三年から六年生には令和三年更女で県選出川柳三十句を秋の押し花をしおりに添

えで仕上げました。全校に思いを巡らせながら。心配する不登校の児童にも届き、笑顔で前進できる力が見つかりますように！



新任会員研修会

海老澤 文代

役員研修会

高島警察署にて

「自分らしく輝く!」

社会に歩みだす
一歩になる機会を...

今年度の主な取り組み

令和4年

5/12 : 総会 (ふじのきホール)

6/13 : 研修会 保護司会との連携による地域での交流について (新旭公民館)

6/14 : リーダー研修会 (びわ湖合同庁舎)

7月5日 : 社会を明るくする運動月間

9/15 : 第一ブロック研究協議会

(大津市生涯学習センター)

10/5 : 更生保護施設「光風寮」への慰問

慰問品の贈呈 (米・衛生用品・金一封)

11/10 : 奈良方面県外研修

11/15 : 高島青少年育成大会 (カリバーホール)

11/20 : 新任会員研修会 (びわ湖合同庁舎)

11/22 : 子育て支援研修 (ふじのきホール)

11/26 : 役員研修 高島警察署へ

12/8 : 中堅研修会 (南草津にて) 協賛

12/10 : たかしまX'mas Festival 2022 協賛

12/12 : たかしまX'mas Festival 2022 協賛

12/14 : たかしまX'mas Festival 2022 協賛

12/16 : 前進座観劇



ホコちゃんとサラちゃん

編集後記

私は青少年育成市民会議の活動をしていましたので、様々な活動の場で更生保護女性会の方と一緒になったことがあります。皆さん、とても真面目で誠実に活動しておられました。ご縁があつて加入し、新任研修に参加させていただきました。

更生保護の意義や地域社会を明るくする運動のことなどを学習し、改めて重要な活動であることを認識しました。ちょっとつましいでもやり直せる社会であつて欲しいものですね。私のような小さな力でも何か役に立てられたらと思いました。

更生保護女性会の方と一緒になったことがあります。皆さん、とても真面目で誠実に活動しておられました。ご縁があつて加入し、新任研修に参加させていただきました。

「あなたの携帯が悪用されています。このままではみんなに迷惑がかかる」という言葉に高齢者はとくにつぶれたえてしまう、とのことです。

また、ボールバスというテストでは、一つの事に夢中になると他の事に全く注意がいかなくなるということを実感しました。



県外研修会 奈良方面へ

三年ぶりの各種研修が実施でき、旧奈良監獄などの視察研修に参加しました。明治四十一年に完成し、戦後は少年刑務所として運営、外壁はレンガ造りで内部は、放射線上に五棟あります。全ての舍房が、中央にある看守所で見渡せるようになっています。独居会場の中はウイズコロナとは言え超密の状態で、十グループに分かれ討議開始。どの地区も会員の高齢化、確保の難しさは同じで、よく似た活動をされていました。

自身が楽しく更女の目的や理解を深め、更女をアピールする広報や地域の人と一緒に活動する等会員確保に繋げられると良いと学びました。

各種 研修

中堅研修会 西川 紹代

草津市民交流プラザで「社会状況の変化に対応した更女活動のあり方について」研修会が開催され、百名近い会員が集いました。



受賞おめでとうございます

☆愛の協賛金やソーメン等の販売のご協力ありがとうございます。
☆皆さんの入会をお待ちしています。

○近畿更生保護女性連盟

会長賞 山本 悅子

感謝状 河原田 洋子 群子 金田

コロナ禍で活動も思うようにできない中、会員皆様の工夫により何とか今できる事に取り組んできました。

人々とのつながりや会話が少なくなっている今こそ、地域のいろいろな方々と連携し住みよい地域づくりを進めていきたいのです。コロナが一日も早く終息し、元の生活に戻れる日が待ち遠しいです。

（編集委員）